

稿 KŌCHŪ 虫

ムモンズジバネゴミムシの記録

深町 宗通

ムモンズジバネゴミムシ *Heteroglossa formosana* (JEDLIČKA) は本邦ではトカラ列島宝島における記録が知られているのみで、その他の地域では、分布の可能性の強い他の南西諸島を含めても、記録されていないようである。筆者は佐賀県白石町の有明において、本種を採集しているので報告しておきたい。

10 exs., 佐賀県杵島郡白石町有明干拓, 5. vi. 1976
 2 exs., 同上, 10. X. 1976
 (〒845 佐賀県小城郡小城町二瀬川)

三宅島における

キボシアトキリゴミムシの記録

深町 宗通

キボシアトキリゴミムシ *Anomotarus stigmula* (CHAUDOIR) は本邦では、本州・四国・九州 (いずれも沿岸地帯)・対馬 (未発表)・薩南諸島・八重山諸島 (石垣島) で採集されているが、伊豆諸島からはまだ記録がないようである。筆者は次の標本を所持している。

2 exs., 三宅島鵜ヶ浜, 12. V. 1975, 守屋健次採集
 末筆ながら、標本を恵与された守屋健次氏、および文献の手配の労をいただいた藤田宏氏に深謝したい。

参考文献

A. HABU (1967): Fauna Japonica, Carabidae Truncatipennes Group

渡辺・相馬(1968): 農学集報, 17 (1)
 (〒845 佐賀県小城郡小城町二瀬川)

シリグロナカボソタママムシの

福島県における記録

矢田 秀雄

シリグロナカボソタママムシ *Coraeus kiangsuanus nigromaculatus* Y. KUROSAWA は採集例の少ない種で、北海道(札幌)および本州の新潟・山梨・和歌山各県下より記録されているが、タイプ標本を含めても計5頭が採集されているにすぎない。筆者は本種を福島県下で採集しているので報告しておきたい。

1 ♀, 福島県南会津郡湯の花, 2. vii. 1977

鱒沢のチップ工場で、シナノキカブナと思われる直径20cm位の伐採木に静止していたものである。

なお、本種の同定は藤田宏氏にお願いした。

(〒174 板橋区坂下 1-4-12 オリエンタル寮)

ナガハムシ亜科6種の記録

今坂 正一

日本産ナガハムシ亜科(Zeugophorinae)は、大野¹⁾によると1属11種が知られているが、このうち、比較的普通なワモンナガハムシを除くと、ほとんどの種が珍しいものようであるので、現在筆者の手元にある6種について記録を書いておく。貴重な標本を恵与された、江本健一、小倉直樹、三陰外茂治、山地治、渡辺昭彦の各位に厚く感謝申し上げる。

1. ムナグロナガハムシ

Zeugophora (Pedrillia) nigricollis (JACOBY)

1 ex., 長野県蓼科白樺高原, 11. vii. 1976, 江本健一採集; 1 ex., 石川県白山, 17. iv. 1973, 三陰外茂治採集; 1 ex., 岡山県上斉原三ヶ上岳, 31. v. 1972, 山地治採集

従来、長野県などの中部高地および四国で得られている。岡山の記録はかなり面白いものと思われる。

2. キイロナガハムシ

Z. (P.) gracilis unicolor (CHŪJŌ)

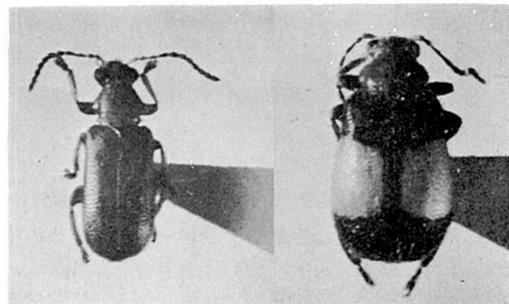
1 ex., 沖縄本島与那演習林, 10. vi. 1975, 小倉直樹採集

中条²⁾により1958年に記載されたが、その後の採集例は報告されていないようである。本種は次種アカイロナガハムシによく似ているが、より細く、触角は長く、前・中・後肢とも赤褐色で、次種のように中・後肢の一部が黒くなることはない。(写真左)

3. アカイロナガハムシ

Z. (P.) varipes (JACOBY)

1 ex., 長崎県雲仙岳, 26. viii. 1975, 筆者採集
 次種ワモンナガハムシについて個体数が多く、分布も広い。本州・四国・九州に分布する。



4. ワモンナガハムシ

Z. (P.) amulata (BALY)

1 ex., 群馬県武尊山, 10. vii. 1972; 1 ex., 群馬県大尻沼, 16. vii. 1972; 1 ex., 岐阜県平湯, 31. v. 1972; 1 ex., 鳥取県伯耆大山, 17. vi. 1971; 1 ex., 長崎県雲仙岳, 26. iv. 1976; 4 exs., 長崎県雲仙岳, 16. viii. 1977; 5 exs., 長崎県島原市眉山, 9. viii. 1976; 以上筆者採集; 1 ex., 徳島県剣山, 29. vii. 1969, 渡辺昭彦採集

北海道より九州までの温帯林～暖帯林帯上部で得られる。長崎県においては、島原市眉山および雲仙岳で4～8月に得られるが、特に雲仙岳では非常に多い。

5. モンキナガハムシ

Z. (P.) flavonotata (CHŪJŌ)

1 ex., 石垣島オモト岳, 2. iv. 1973, 三陰外茂治採集 石垣・西表両島で少数の個体が得られている。前胸は赤褐色。上翅は黒色で、黄白色の幅広い紋をもち、本亜科の種の中では最も美しい色彩をしている。(写真右)

6. オビモンナガハムシ

Z. (P.) unifasciata (JACOBY)

1 ex., 宮崎県青井岳, 7. viii. 1974, 三陰外茂治採集 従来、本州・四国から得られていた。九州よりは初めての記録と思われる。

- 1) 大野正男(1971): 東洋大学紀要, (13), pp. 31～126
- 2) M. CHŪJŌ (1958): Kagawa Univ. Mem. Fac. Lib. Arts & Educ., 2 (64)
- 3) S. KIMOTO (1964): Kyūshū Univ. J. Fac. Agr., 13 (1)
- 4) S. KIMOTO & L. GRESSITT (1966): Pac. Ins., 8 (2), pp. 467～577

(〒855 島原市白土町1064)

福島県いわき市のカミキリ6種

大桃 定洋

筆者は、福島県いわき市において、興味深いと思われる次の6種のカミキリを採集したので報告する。

1. オオハナカミキリ

Anoplodera (Konoa) granulate (BATES)

1 ♀, いわき市江田, 20. vii. 1977

ノリウツギの花に飛来した。同地は標高200～250mの所で、従来中山帯から記録されていた本種が、このような低山地から得られたことは興味深い。また、同時に採集されたヒメアカハナカミキリ(2♂♂ 2♀♀)についても、同様のことがいえよう。

2. タケウチホソハナカミキリ

Strangalia (Sulcatostrangalia) takeuchii

MATSUSHITA et TAMANUKI

1 ♂, いわき市江田, 20. vii. 1977

ノリウツギの花に飛来した。北海道産の個体と比較すると、かなり大型で、上翅の黄色部も広く、紀伊半島産の個体に近い。本種は、北海道から九州まで全国的に産するとはいうものの、本州における産地は限られており、富士山、南アルプス、段戸山、紀伊半島などが知られているだけで、関東地方から東北地方にかけてはまったく知られていなかった。本記録はこの空白を埋めるもので、将来、北上山地などからも、記録される可能性を示唆しているものと思われる。(写真左)

3. クロトラカミキリ

Chlorophorus diadema kurotora HAYASHI

2 exs., いわき市江田, 20. vii. 1977

ノリウツギの花に飛来した。本個体はいずれも、従来福島県下で得られている ssp. *inhirsutus*¹⁾ とは異なり、微毛が黄灰色で、前胸の黒紋も大きく、西南日本亜種と思われる。

4. タキグチモモブトホソカミキリ

Cleomenes takiguchii OHBAYASHI

1 ♂, いわき市江田, 20. vii. 1977

ノリウツギの花に飛来した。本種の東日本における既産地は、東京都下奥多摩・伊豆半島猫越で、本記録は北限を示すものと思われる。(写真右)

5. ゴインモモブトカミキリ

Callapoecus guttatus BATES

